

第7次 岡崎市総合計画

総合政策指針

- 1 将来都市像
一歩先の暮らしで三河を拓く中枢・中核都市 おかざき
- 2 基本指針
(1)公民連携による成長戦略の推進
(2)コンパクトな都市構造の構築
(3)まちへの誇りが育まれていく社会づくり
(4)周辺都市との連携の推進
- 3 都市のグランドデザイン
- 4 分野別指針
(1)暮らしを支える都市づくり
(2)暮らしを守る強靱な都市づくり
(3)持続可能な循環型都市づくり
(4)多様な主体が協働・活躍できる社会づくり
(5)健康でいきがいをもって活躍できる社会づくり
(6)女性と子どもがいきいきと活躍できる社会づくり
(7)誰もが学び活躍できる社会づくり
(8)商業と観光が成長産業となる地域経済づくり
(9)ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり
(10)スマートでスリムな行政運営の確立

まち・環境

ひと・社会

しごと・経済

行政・パートナーシップ

キーワード抽出

(図示) 具体化

未来投資計画

5 分野別指針の主な取組み P2～P5

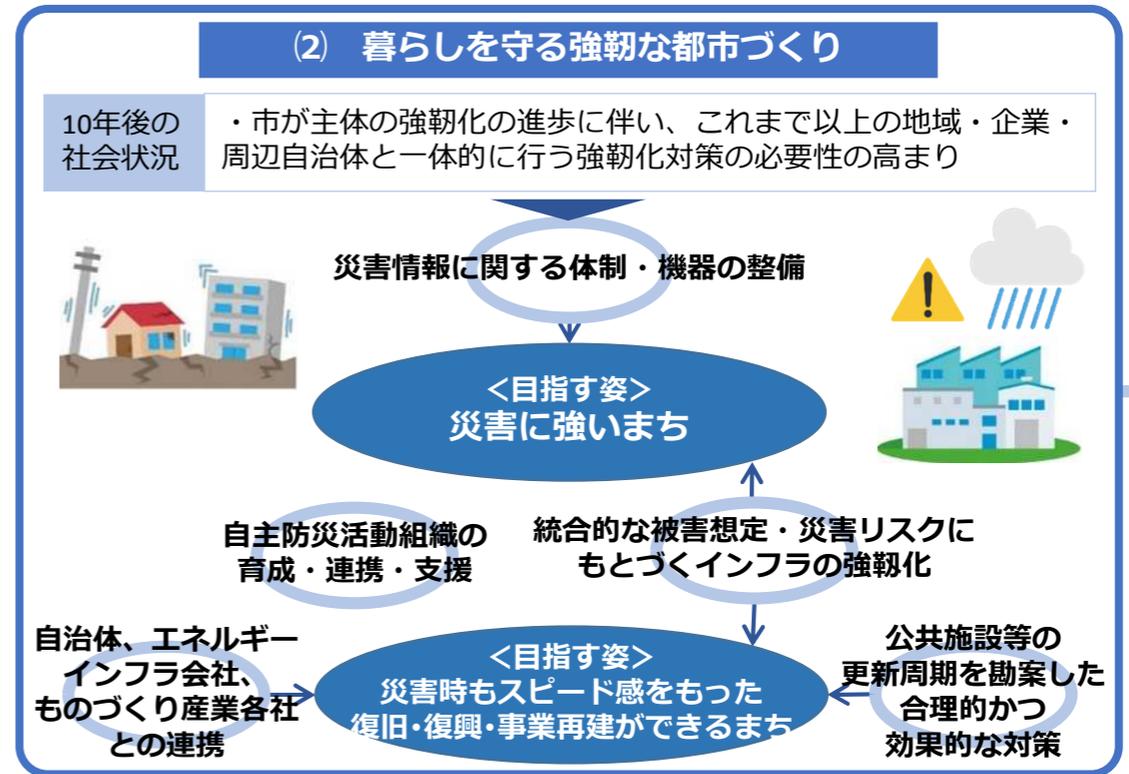
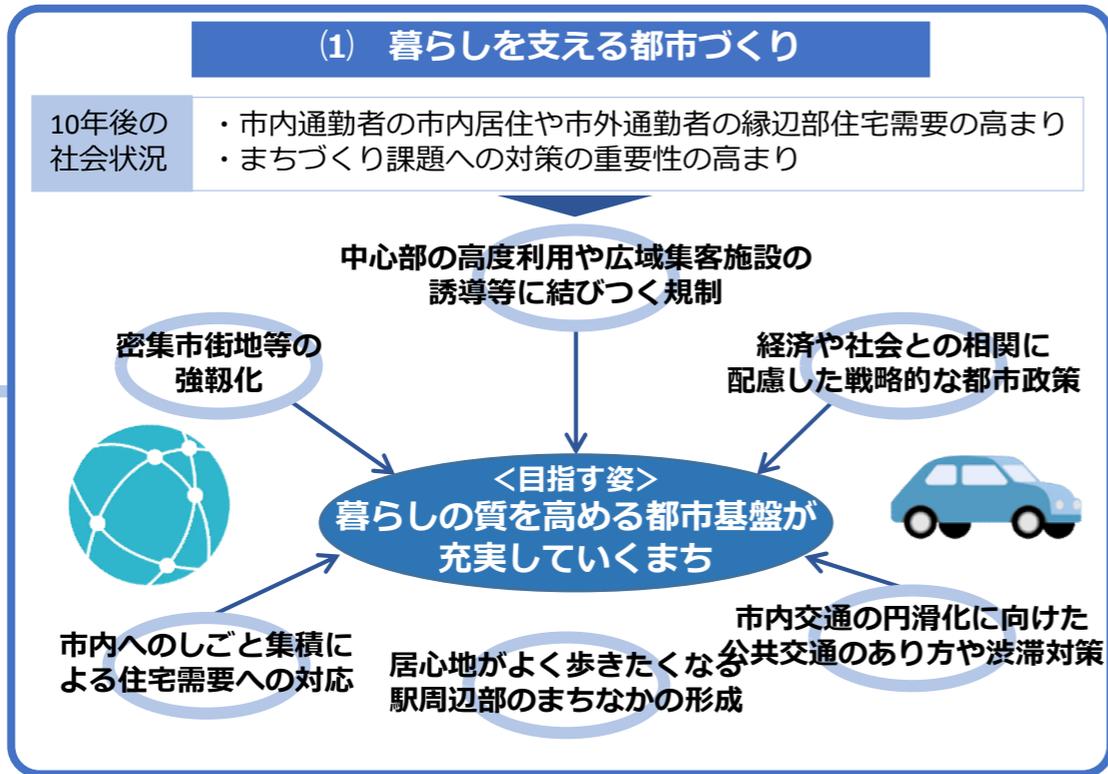
個別計画の総括

抽出 キーワード

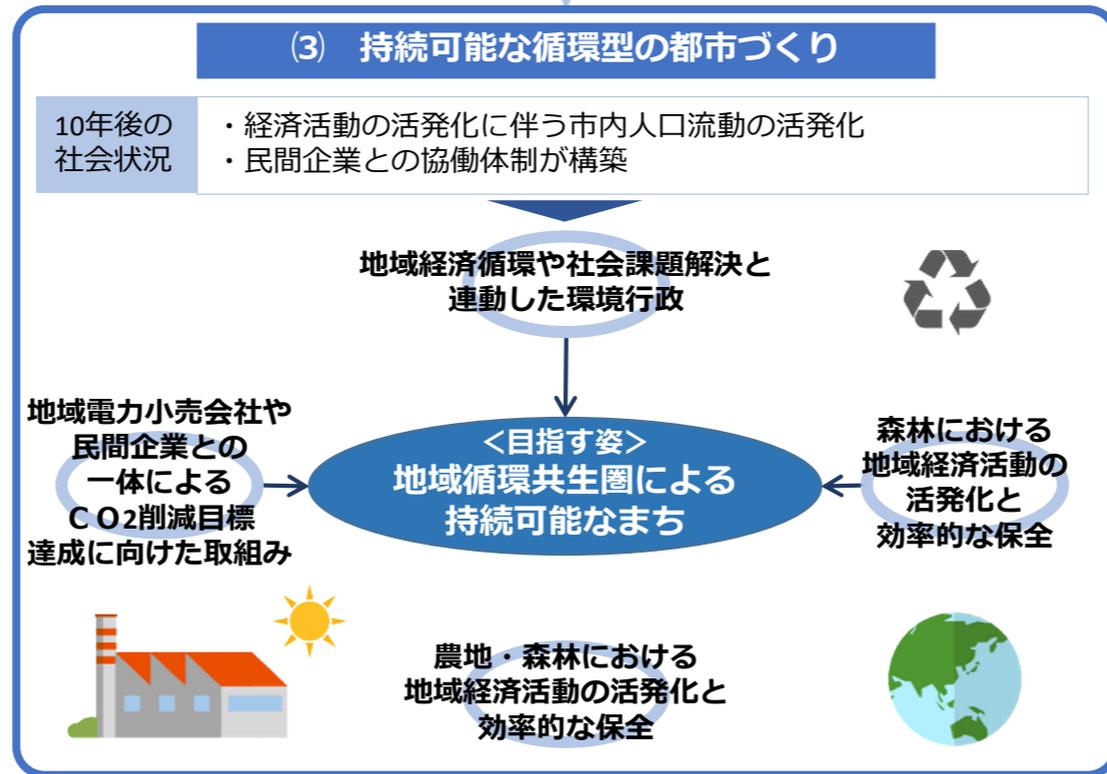
6 未来投資パッケージ P6～P10
30年先の未来の目指す姿を実現する分野別指針に沿った投資

個別計画

個別計画策定の方向性



公共投資と民間投資のベストミックス



多世代・多機能な骨太の集約連携型都市

地域共生社会の実現

(4)多様な主体が協働・活躍できる社会づくり

10年後の社会状況

- ・地域活動の主な担い手として期待される前期高齢者数は2020年以降減少
- ・町内会ごとに年代別人口の偏在が発生



(5)健康でいきがいをもって活躍できる社会づくり

10年後の社会状況

- ・これから10年間で前期高齢者の割合は2%減少するが、後期高齢者は5%急増
- ・健康に対する意識・考え方・技術が変化



(6)女性や子どもがいきいきと輝ける社会づくり

10年後の社会状況

- ・合計特殊出生率は全国・県内を上回る
- ・新たな雇用創出や社会環境の成熟による子育て支援ニーズの更なる高まり

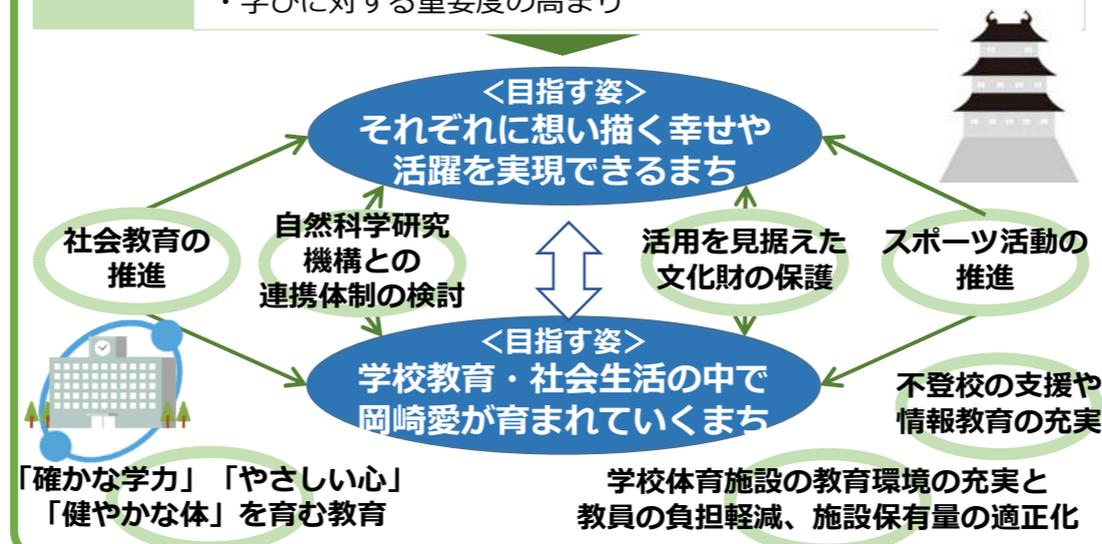


市民総活躍

(7)誰もが学び活躍できる社会づくり

10年後の社会状況

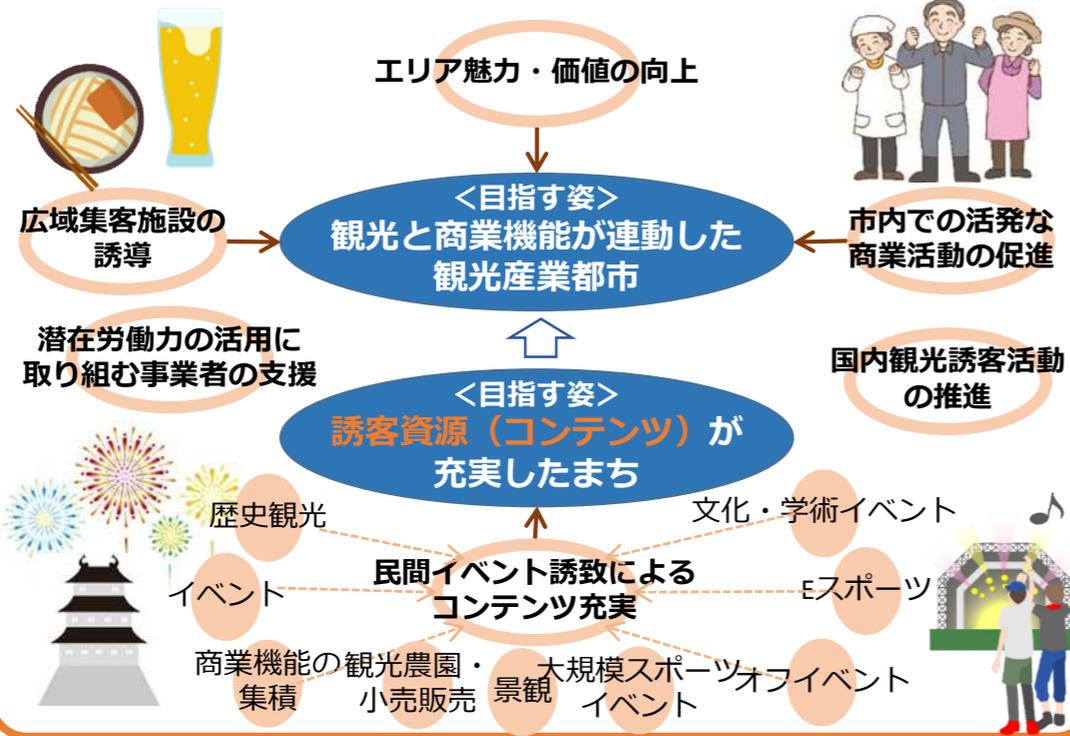
- ・価値観の多様化や多様性を受容する社会構造がこれまで以上に拡大
- ・学びに対する重要度の高まり



潜在労働力（高齢者・女性など）の掘り起こし

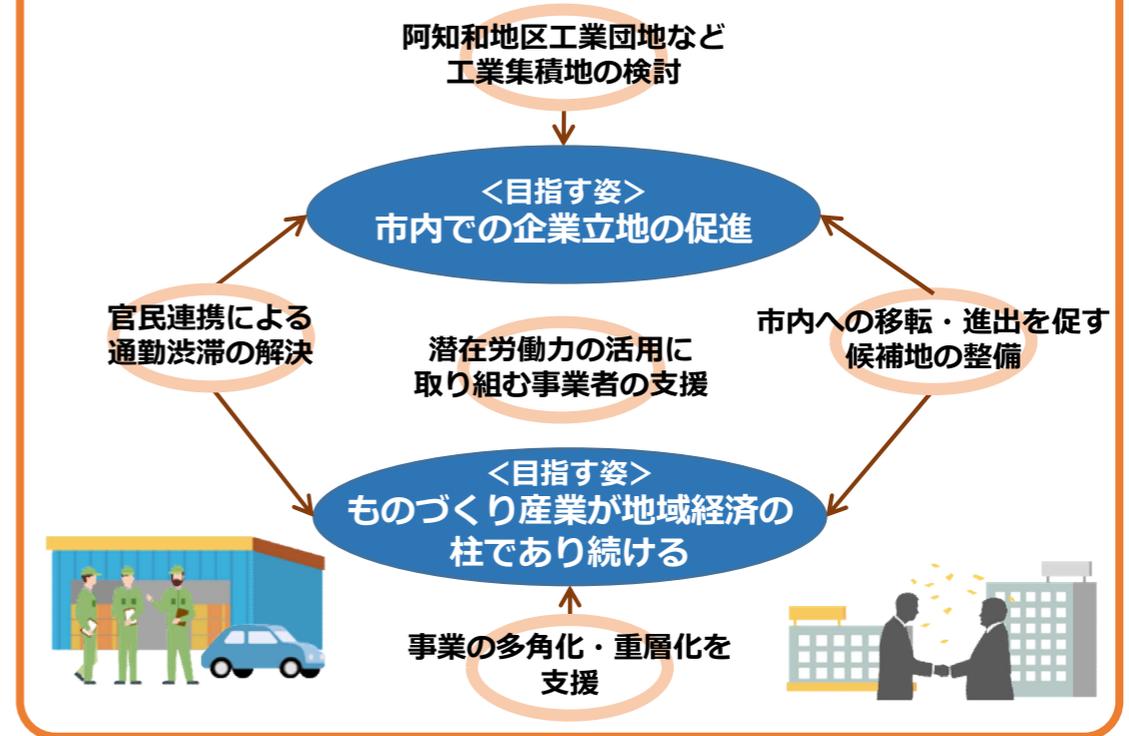
(8)商業と観光が成長産業となる地域経済づくり

10年後の社会状況
 ・生活の利便性が著しく向上
 ・商圈人口はじめ既存概念が大きく変化

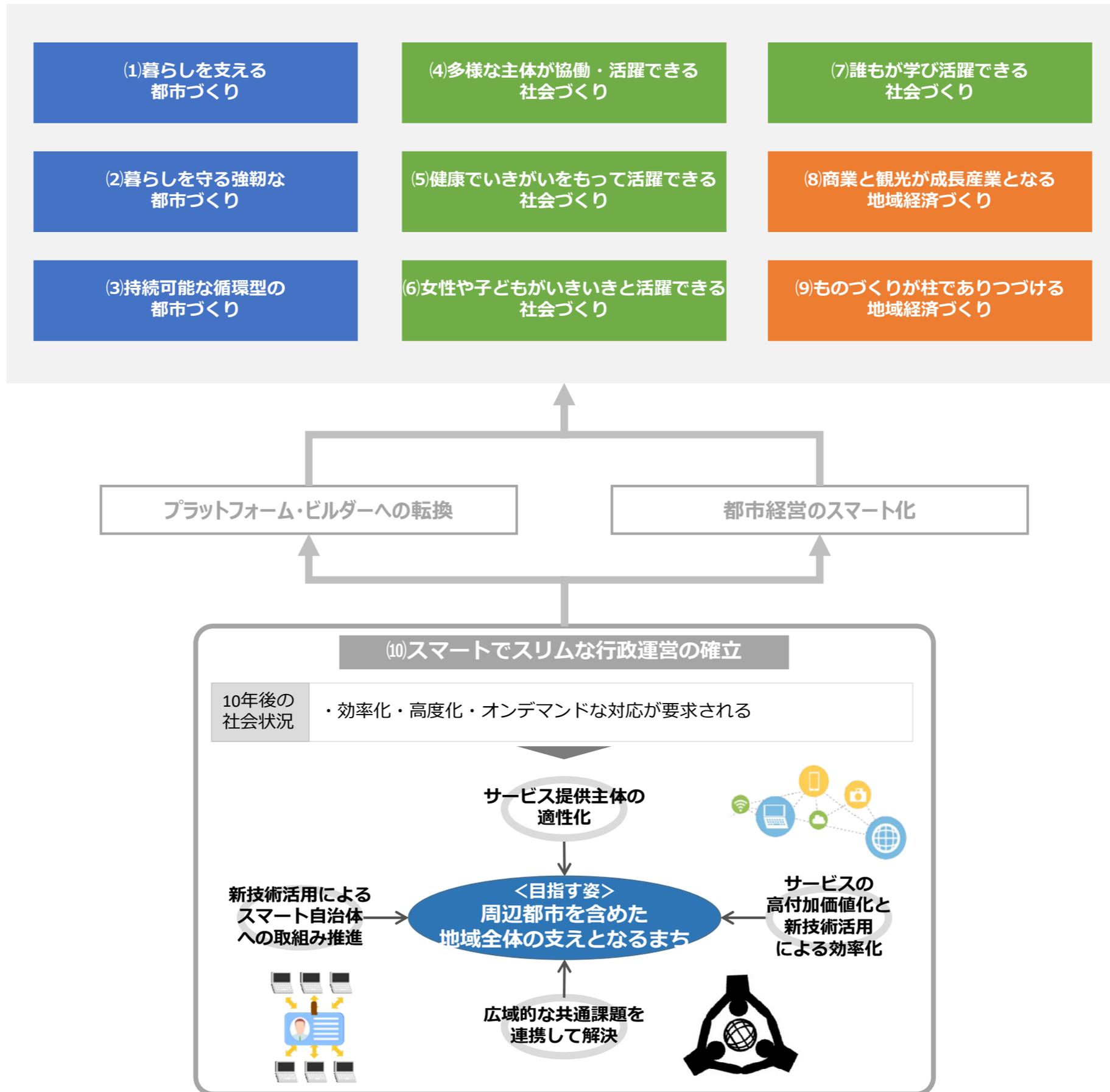


(9)ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり

10年後の社会状況
 ・既存産業の継続と新産業の融合
 ・高齢者・女性など潜在労働力の活躍



産業集積の促進

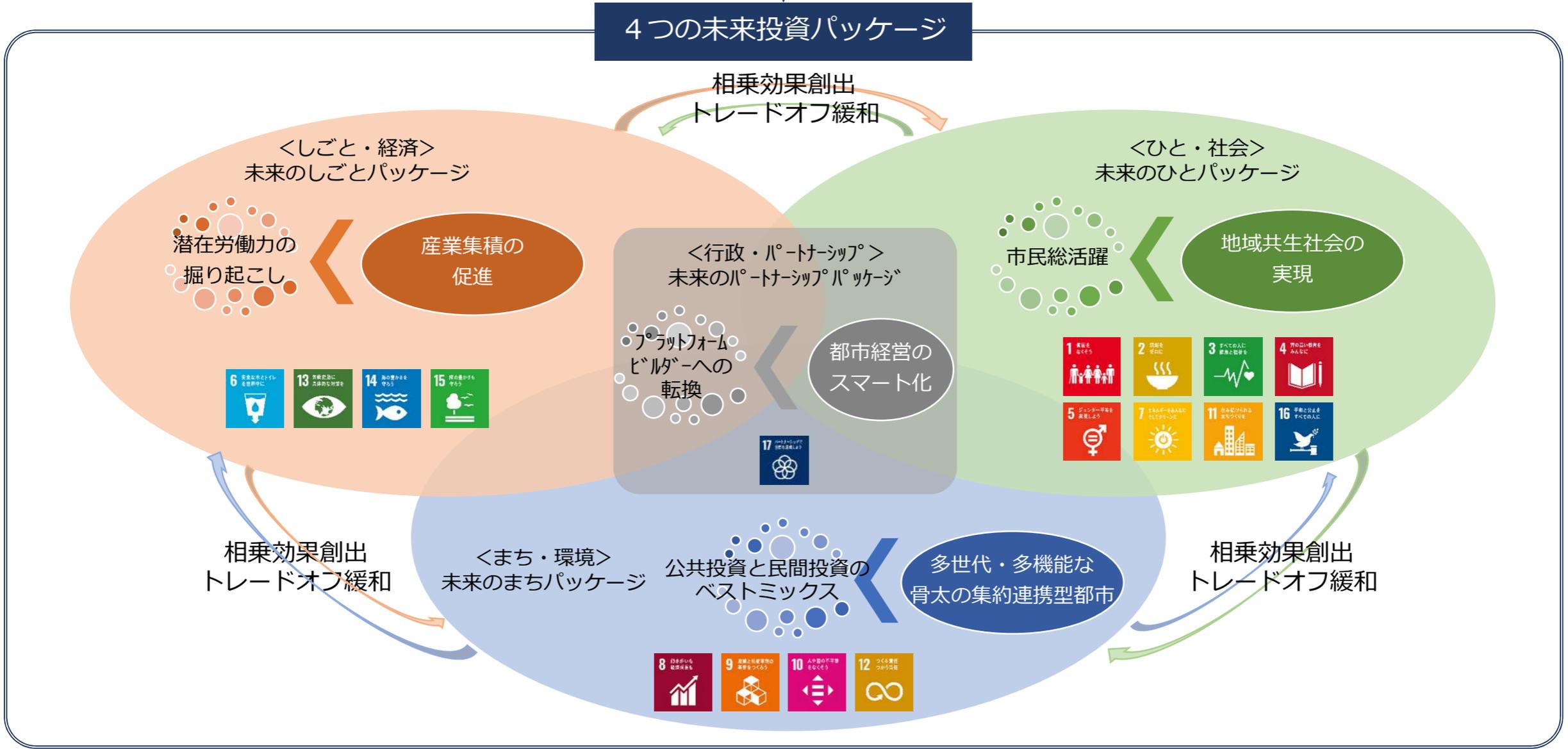


- 30年後の将来都市像実現に資する事業
- 環境・社会・経済の3側面の課題解決に資する分野・組織横断的な事業
- 地域の垣根を超える事業・地域間の還流を生み出す事業
- 他側面や他地域との関係において、“相乗効果創出”と“トレードオフ緩和”が図られる事業

➡ パッケージ化して
指標設定・進捗管理

将来都市像 基本指針	一歩先の暮らし 三河を拓く 中枢・中核都市 行政・学研・商業機能の集積 新技術をまちづくりへ活用 利便性や先進性 三河地域の発展を牽引
キーワード群	公民連携 成長戦略 市場機会の創出 地域経済の活性化 暮らしを楽しむまち 市民・民間事業者にも選ばれるまち コンパクトな都市構造 人口ピーク上昇・先送り 投資・保全 都市の強靱化 集約連携型都市 まちへの誇り 未来を担う子どもたち 誰もが活躍 全世代が本市固有の資源を活用 周辺都市との連携 暮らしの拠点 広域的な共通課題の解決 共に発展していくための拠点

↓ 新たな生活様式の普及による変革の加速



アウトラインや指標を共有



【現状】

- ✓ 都市の成熟に伴い、公共投資による施設整備も一定の水準を達成しつつある。
- ✓ 新たな都市課題の顕在化や、新たな技術開発が進展している。
- ✓ 地方創生やSDGs推進で公民連携気運が高まりつつある。

【パッケージ概要】

「暮らしの質の向上」「居住の誘導」「民間事業の誘導」
につながる投資を促進

- 民間投資を積極的に誘導
- 民間投資の呼び水となる公共投資を促進
- 拠点をつなぐネットワークの構築

- 【事業例】
- ✓ 東岡崎駅再開発事業
 - ✓ 優良建築物等整備事業
 - ✓ 中山間地域投資誘導事業
 - ✓ 各区画整理事業
 - ✓ 本宿駅周辺道路整備事業
 - ✓ 阿知和地区周辺道路整備事業
 - ✓ 交通ネットワーク構築事業 等

【他側面への波及効果】

(社会) コミュニティの若返り
(経済) 経済活動のさらなる拠点化

【参考指標】

再開発件数
交通利便性の高いまち (アンケート)



【現状】

- ✓ 555の町内会組織が結束力をもって地域課題解決への取組みを行っている。
- ✓ 20か所の地域包括支援センターが運営されている。
- ✓ 新技術を活用しつつ多様性を受容する社会への変革が求められている。

【パッケージ概要】

多様な主体や個人の活躍できる社会の構築

- 活躍をオンデマンドに支援する体制の構築
- 活躍を支援する施設の整備・誘導・活用を促進
- 活躍の基礎となる健康や教育を促進

- 【事業例】
- ✓ 地域共生総合窓口設立事業
 - ✓ 岩津地域活動拠点施設整備事業
 - ✓ 健康づくり連携体制構築事業
 - ✓ 中央総合公園活用拡大事業
 - ✓ 令和の学びのスタンダード事業
 - ✓ 電子図書館サービス構築事業
 - ✓ 南公園再編事業 等

【他側面への波及効果】

(環境) まちづくりの担い手確保
(経済) 市内経済活動の活性化

【参考指標】

社会増減・住み続けたいまち(アンケート)
合計特殊出生率・子育てしやすいまち(アンケート)



未来のしごとパッケージ

【現状】

- ✓ 工業団地の造成や、産業誘導地区(土地利用基本計画)の指定がなされている。
- ✓ 投資効果により中心部への人通りが回復しつつある。
- ✓ 愛知県は内閣府からスタートアップ・エコシステム拠点に認定された。

【パッケージ概要】

- 各産業の事業者の活動や進出を促進
- ものづくり産業・広域商業を促進
- MICEやツーリズムの推進と観光消費額の増加
- 学びなおし事業者との連携体制の構築

【事業例】

- ✓ 阿知和地区工業団地造成事業
- ✓ 本宿駅周辺地域拠点整備業務
- ✓ コンベンション施設整備事業
- ✓ スポーツツーリズム構築事業
- ✓ ナイトタイムエコノミー推進事業
- ✓ 中小企業・勤労者支援構築事業
- ✓ 新産業創出支援業務 等

【他側面への波及効果】

(社会) 企業CSR・CBで地域課題解決
 (環境) 都市機能のさらなる拠点化

【参考指標】

小売業商品販売額
 製造品出荷額等



未来のパートナーシップパッケージ

【現状】

- ✓ 様々なまちづくりのプラットフォームが構築されつつある。
- ✓ スマートシティなど先進技術活用に取り組みに着手した。
- ✓ 市事務手続きスマート化で、きめ細かな対応に人材をかけられる行政への転換が始まっている。

【パッケージ概要】

- 幅広く民間事業者とパートナーシップを確立・強化
- プラットフォーム構築手法の一般化
- 公民相互に課題・対策を提案できる制度の構築
- スマート化とオンデマンド化で人間中心の社会構築

【事業例】

- ✓ オンデマンド体制構築事業
- ✓ 各プラットフォーム構築事業
- ✓ 民間事業者提案制度構築事業
- ✓ スマート自治体構築事業
- ✓ 業務プロセスモデル構築事業
- ✓ 周辺自治体パートナーシップ事業
- ✓ スマートシティ構築事業 等

【他側面への波及効果】

各側面の活動・連携基盤形成

【参考指標】

—